

日本カトリック保育施設協会研修会

日本カトリック保育施設協会が主催する理事・施設長研修会が6月23、24日、長崎市内のホテルで開催され全国から100余人が集まった。研修会では「愛をテーマにカトリック保育園の使命を確



平成23年度 日本カトリック保育施設協会 理事・施設長研修会

認し合い、カトリック保育園の危機についても本音で語り合われた。初日は高見三明大司教司式による開会ミサ、その後、元長崎純心大学・大学院教授の山内清海師(写真)長崎教区司教が基調講演

を行い、「カトリック施設のアイデンティティは『愛』である。愛は理論的に教えるも効果はない。むしろ実践によって伝えるべき」と論じた。翌24日は、グループに分かれて「カトリック保育園として地域とどのように関わっているか」「園児たちに何を伝えるか」など討議が行われ、意見交換。最後に感謝ミサがあり閉会

「同じカトリック保育園でも地域によって温度差があることに気付かされた。利用者の中には、諸事情で社会の片隅に追いやられている人や家族もある。わたしたちはキリストの心に倣って最も小さい者に優先的に寄り添い、喜びのうちに仕える者になろうと決意を新たにしました。また参加者一同、カトリック保育園の使命を継承していくよい後輩を養成することの責任を痛感した」

「各園が、教区の組織の中で普遍教会の福音宣教の使命を委託され、神の愛とキリストの精神を子供たちの心の中で育むという、神と教会の前に大きな責任がある」とも、日本社会の中で心の教育に関する役割を演じていると実感させられた」と感想を語った。

その後総会では、役員と新理事長・園長の紹介と前年度事業・決算報告、今年度事業計画・予算審議、会則変更に伴う承認などがあり、散会した。

「贖い主信徒の会」が、長崎教区長ヨセフ高見三明大司教さまの認可を得て、去る3月25日のお告げの祭りに設立されました。そして5月21日には3人の志願者の「誓約の儀」が喜びのうちに執り行われ、わたしたちは修道院の聖堂において、神からの呼び掛けに応えようとする信徒たちの姿に感動を覚えながら、彼らも修道者と同様にキリストに倣う者として呼ばれていると感じました。

「贖い主信徒の会」は、シスターたちの深い祈りと働きがなければ実現されなかつたでしょう。これからも禁城でささげられる祈りと働きが、会員たちの働きの支えになっていきます。

聖霊の導きと照らしが会員たちの心に注がれ、み旨を果たしていくことができ、心から期待して祈ります。神に感謝。アーメン。

問い合わせ先 長崎市愛宕4-3-3 カトリック愛宕教会 TEL 095(822)8802 頭島光神父

井持浦教会 ルルド祭

5月29日、19回目のルルド祭が井持浦教会で行われ、台風の影響にもかかわらず約200人が参加した。下五島地区主催。この日聖母行列が取りやめになり、聖堂内で口



ザリオと聖歌がささげられた。続いて子供たちがマリア像に花まきを行い、ミサが始まった(写真)。葛島輝義神父(井持浦教会主任)は説教の中で、準備に携わった協力者への感謝と共に、「先人たちが守ってきた最古のルルドを井持浦の信者だけではなく、みんなで守っていかねばならぬ」と切実な思いを語った。そして、「聖母のそばにたたずむ時、ひたむきな純粋さを思い出さな

いでしょうか。人類が高慢の英知を得ることがないよう、また各小教区のキリスト者が神の民として一つになるよう、マリ

アに結ばれて信仰の道を歩んでいきたい」と話した。ミサ後、参加者にはルルドの水と記念の皿が無償で配られた。

「贖い主信徒の会」は、シスターたちの深い祈りと働きが、会員たちの働きの支えになっていきます。

聖霊の導きと照らしが会員たちの心に注がれ、み旨を果たしていくことができ、心から期待して祈ります。神に感謝。アーメン。

問い合わせ先 長崎市愛宕4-3-3 カトリック愛宕教会 TEL 095(822)8802 頭島光神父

問い合わせ先 長崎市愛宕4-3-3 カトリック愛宕教会 TEL 095(822)8802 頭島光神父

聖書100週間始まる!

教区信仰養成部(山川 忠部長)が主催する講座「聖書100週間」が6月30日からスタートした。パリ外国宣教会のマルセル・ルドールズ神父によって37年前に始められた聖書100週間は、聖書に親しむ



方法の1つとして、グループで祈りと分かち合いを行い読んでいく方法。毎月第2、第4木曜日にカトリックセンターで開かれる。現在のクラスには9人の信徒が参加、今後、皆で聖書が読み進められる。

「同じカトリック保育園でも地域によって温度差があることに気付かされた。利用者の中には、諸事情で社会の片隅に追いやられている人や家族もある。わたしたちはキリストの心に倣って最も小さい者に優先的に寄り添い、喜びのうちに仕える者になろうと決意を新たにしました。また参加者一同、カトリック保育園の使命を継承していくよい後輩を養成することの責任を痛感した」

「各園が、教区の組織の中で普遍教会の福音宣教の使命を委託され、神の愛とキリストの精神を子供たちの心の中で育むという、神と教会の前に大きな責任がある」とも、日本社会の中で心の教育に関する役割を演じていると実感させられた」と感想を語った。

その後総会では、役員と新理事長・園長の紹介と前年度事業・決算報告、今年度事業計画・予算審議、会則変更に伴う承認などがあり、散会した。

「贖い主信徒の会」は、シスターたちの深い祈りと働きが、会員たちの働きの支えになっていきます。

聖霊の導きと照らしが会員たちの心に注がれ、み旨を果たしていくことができ、心から期待して祈ります。神に感謝。アーメン。

問い合わせ先 長崎市愛宕4-3-3 カトリック愛宕教会 TEL 095(822)8802 頭島光神父

問い合わせ先 長崎市愛宕4-3-3 カトリック愛宕教会 TEL 095(822)8802 頭島光神父

レジオマリエ 熊本巡礼

レジオマリエ・長崎レジア(村田祐二会長)では戸外行事を6月5日に行い、司祭3人を含め長崎市6小教区から8グループ、レヂウム57人が参加した。

往路のバスの中で活動報告やレジオの祈りなどを行い、まず熊本・菊池恵楓園(ハンセン病療養所)の教会でミサをささげた。その後、元ハンセン病患者の太田国男氏から園の説明

「贖い主信徒の会」は、シスターたちの深い祈りと働きが、会員たちの働きの支えになっていきます。

聖霊の導きと照らしが会員たちの心に注がれ、み旨を果たしていくことができ、心から期待して祈ります。神に感謝。アーメン。

問い合わせ先 長崎市愛宕4-3-3 カトリック愛宕教会 TEL 095(822)8802 頭島光神父

問い合わせ先 長崎市愛宕4-3-3 カトリック愛宕教会 TEL 095(822)8802 頭島光神父

山下俊一氏、福島県立医科大学副学長に

福島第1原発事故を受けて、同県の放射線健康リスク管理アドバイザーを務めてきた山下俊一氏

「贖い主信徒の会」は、シスターたちの深い祈りと働きが、会員たちの働きの支えになっていきます。

聖霊の導きと照らしが会員たちの心に注がれ、み旨を果たしていくことができ、心から期待して祈ります。神に感謝。アーメン。

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
富長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります

実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行
本社 長崎市つじが丘5-1-15 (TEL) 095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

2010年度決算に関する報告 長崎大司教区

宗教法人カトリック長崎大司教区の収支決算書が6月28日、教区顧問会で承認された。前年度繰越金と次年度繰越金を比較すると、次年度繰越金額が減少している。繰越金は次年度の運営資金となるので、2011年度の運営資金が減少したことになる。カトリックセンター事業部門は、収支では黒字となった。

長崎大司教区

〔収入の部〕

科 目	2010年度決算	(%)
1. 経常収入の部	429,287,887	68.8
教区費	132,272,570	21.2
信徒	116,257,570	
司祭	10,615,000	
修道会	5,400,000	
特定献金	34,495,736	5.5
神学生養成援助費	12,341,636	
世界広報の日献金	2,700,604	
聖ペトロ使徒座への献金	6,836,104	
世界難民移住移動者の日献金	2,682,051	
世界宣教の日献金	2,610,148	
宣教地司祭育成の日献金	2,745,812	
児童福祉の日献金	4,579,381	
特別献金	32,957,900	5.3
寄付金	13,678,400	
献金収入(本部関係)	18,880,500	
ミサ奉納金(ピナチオ・トリナチオ)	399,000	
ミサ献金(教区行事)	0	
諸委員会活動費	2,441,416	0.4
(1) 信仰養成部	776,000	
生涯養成委員会	776,000	
(2) 福音化推進部	1,665,416	
福音化推進部費	166,880	
広報委員会	1,498,536	
社会福音化委員会	0	
その他	227,120,265	36.4
保険金収入	0	
受取利息	314,440	
雑収入	35,940	
小教区拠出金	226,769,885	
2. 財務収入の部	150,935,695	24.2
固定資産収入	3,150,000	0.5
受取家賃	3,150,000	
その他の財務収入	147,785,695	23.7
内部貸付金回収	48,000,000	
立替金返済収入	0	
国宝保存・財務資金	90,000,000	
資金取崩収入	0	
土地売却収入	493,695	
雑収入	9,292,000	
3. 前年度繰越金	43,482,892	7.0
収入の部合計	623,706,474	

〔支出の部〕

科 目	2010年度決算	(%)
1. 経常支出の部	481,920,803	77.3
宗教活動費	5,073,294	0.8
祭儀費	390,000	
特別行事	133,085	
助成金(小教区)	1,686,428	
教区評議会	2,863,781	
諸委員会活動費	16,479,122	2.6
(1) 信仰養成部	5,406,855	
信仰教育委員会	2,000,000	
生涯養成委員会	1,209,836	
青少年委員会	1,500,000	
典礼委員会	697,019	
(2) 福音化推進部	9,746,226	
福音化推進部費	2,016,880	

科 目	2010年度決算	(%)
広報委員会	6,729,346	
家庭福音化担当部	300,000	
エ・諸宗教委員会	700,000	
(3) 教会奉仕者等養成部	826,041	
召命促進委員会	484,041	
神学生養成委員会	342,000	
(4) 巡礼センター	500,000	
負担金	23,678,265	3.8
中央協議会送金	15,811,484	
使徒座送金	7,266,781	
心のともしび	600,000	
神学生養成費	69,127,186	11.1
日本カトリック神学院	29,127,186	
長崎カトリック神学院	20,000,000	
長崎コレジオ	20,000,000	
司祭生涯養成費	8,387,299	1.3
黙想研修会	3,728,359	
海外留学費	4,658,940	
不動産管理費	1,705,874	0.3
管理費	508,336	
租税公課	1,197,538	
人件費	285,731,566	45.8
聖職者(本部関係)	16,170,000	
(小教区)	168,427,800	
(引退司祭)	10,257,200	
職 員(本部関係)	35,941,850	
(小教区)	54,934,716	
福利厚生費	37,427,883	6.0
法定福利費(司祭・本部職員)	29,079,351	
(小教区職員)	3,407,369	
福利厚生	107,034	
医療費	782,196	
医療共済制度	1,530,000	
年金(掛け金)	2,521,933	
維持管理費	20,596,829	3.3
大司教館	11,220,052	
センター(管理部門)	8,258,827	
火災保険料	1,117,950	
事務費	12,416,185	2.0
本部事務局	4,000,000	
法人事務所	8,416,185	
雑費	1,297,300	0.2
雑費	1,297,300	
予備費	0	0.0
予備費	0	
2. 財務支出の部	113,956,614	18.3
財務支出	99,810,575	16.0
補助金	37,803,225	
内部貸付金	62,000,000	
立替金	0	
送金料	7,350	
積立金支出	14,146,039	2.3
司教活動資金	3,000,000	
財務資金	8,751,039	
退職金引当金	2,395,000	
巡礼地整備資金	0	
3. 次年度繰越金	27,829,057	4.5
支出の部合計	623,706,474	

カトリックセンター事業部門

〔収入の部〕

科 目	決 算 額
旅館売上	39,663,065
(宿泊料)	26,240,615
(会議室)	2,662,240
(カフェ)	10,760,210
雑収入	2,493,875
受取利息	1,294
前年度繰越金	3,240,930
合 計	45,399,164

〔支出の部〕

科 目	決 算 額
給与	12,765,644
福利厚生費	1,076,810
什器備品費	0
消耗品費	921,286
修繕費	154,735
旅費交通費	645,625
通信費	547,089
水道光熱費	2,922,541
下水道使用料	299,784
燃料費	1,081,920
広告宣伝費	281,362
租税公課	2,265,864
接待交際費	0
保健衛生費	1,000,124
雑費	1,697,591
原材料仕入れ	5,792,288
保険・会費	633,850
消費税	778,300
工事費	0
手数料	258,723
次年度繰越金	12,275,628
合 計	45,399,164

2011年 四旬節愛の献金

総額 7,885,822円

(6月30日締め切り)

右の献金額の他、小教区などから直接カリタスジャパンへ送金いただいている分もあります。皆さまのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

カリタスジャパン長崎支部

2010年度決算に関する報告 長崎教区71小教区決算集計表

〔経常収入〕

科目	総合計
教会維持費	414,854,714
ミサ献金	111,542,233
ミサ奉納金	192,334,300
祭儀献金	43,044,080
その他の献金	19,858,425
(1) 献金収入計	781,633,752
一般寄付金	23,820,220
指定寄付金	65,512,130
司祭寄付金	6,122,224
修道会寄付金	3,250,000
その他の寄付金	5,527,111
(2) 寄付金収入計	104,231,685
教区補助金収入	20,348,428
受取利息収入	664,385
墓地納骨堂管理費収入	7,719,705
行事収入	6,478,933
非課税事業収入	2,868,794
雑収入	34,158,673
(3) その他の収入計	72,238,918
教区費	132,272,570
神学生養成援助費	12,341,636
児童福祉の日献金	4,579,381
世界広報の日献金	2,700,604
聖ペトロ使徒座への献金	6,836,104
世界難民移住移動者の日献金	2,682,051
世界宣教の日献金	2,610,148
宣教地司祭育成の日献金	2,745,812
特別献金	5,668,241
預り金	2,559,532
一菜募金	6,411,549
クリスマス募金	3,639,697
カリタスジャパン募金	8,769,137
その他の募金	3,332,988
(4) 預り金収入計	197,149,450
経常収入合計 (1) ~ (4)	1,155,253,805

〔財務収入〕

科目	総合計
内部借入金収入	44,650,000
外部借入金収入	30,000,000
特別目的預金取崩収入	32,992,482
境内地拡張費積立金収入	1,957,000
境内建物建設増改築費積立金収入	171,395,971
土地売却代金収入	0
修理費積立金収入	57,254,341
雑収入	11,564,323
重文防災施設工事補助金	0
財務収入合計	349,814,117

収入合計(経常収入+財務収入)(A)	1,505,067,922
前年度繰越金(B)	951,351,629
収入総計(A)+(B)	2,456,419,551

〔経常支出〕

科目	総合計
祭儀費	42,214,364
教化費	19,728,843
教育養成費	30,464,248
図書費	7,005,714
出版刊行費	9,489,749
行事費	43,996,813
負担金	12,679,076
維持管理費	46,726,107
備品修繕費	36,326,570
保守管理費	13,688,084
墓地管理費	2,680,499
保険料	29,401,004
給与手当	239,552,526
雑給与	25,389,150
退職金	7,187,800
福利厚生費	12,568,967
法定福利費	4,175,828
会議費	5,595,815
消耗品費	17,244,186
器具備品費	25,496,626
リース料	12,003,451
通信費	12,464,082
旅費交通費	13,119,509
自動車諸費	20,613,798
水道光熱費	68,405,192
接待交際費	21,974,976
公租公課	810,080
支払利息	0
補助金支出	20,046,389
支払手数料	296,370
非課税事業支出	2,745,098
雑費	47,571,094
司祭活動費補助	8,476,639
長崎南山第2学園援助費	0
外国人信徒司牧難民支援	0

科目	総合計
修道院献金	0
小計 I	860,138,647

〔預り金支出〕

科目	総合計
教区費	122,923,964
神学生養成援助費(封筒)	11,276,346
児童福祉の日献金	2,348,748
世界広報の日献金	2,508,964
聖ペトロ使徒座への献金	2,564,459
世界難民移住移動者の日献金	2,558,807
世界宣教の日献金	2,486,604
宣教地司祭育成の日献金	2,486,848
特別献金	9,340,442
預り金	2,570,332
一菜募金	6,548,599
クリスマス募金	3,551,068
カリタスジャパン募金	12,336,172
その他の募金	3,829,388
小計 II	187,330,741
経常支出合計 III (I + II)	1,047,469,388

〔財務支出〕

科目	総合計
内部借入金返済支出	48,269,840
外部借入金返済支出	19,500,000
土地取得支出	27,115
建物取得支出	412,914,435
構築物購入支出	28,886,281
器具備品購入支出	37,417,995
特別目的預金積立支出	142,666,299
退職積立金	200,000
建物増改築費	0
教会修理費	4,796,115
財務支出合計 IV	694,678,080

支出合計(III+IV)(C)	1,742,147,468
次年度繰越(D)	714,272,083
支出総計(C)+(D)	2,456,419,551

	(2010年度)	(2009年度)
所帯数	18,172	18,239
①維持費/所帯数/月	1,902	1,945
②教区費/所帯数/月	607	584
③教区費/維持費(%)	32	30
④ミサ奉納金/所帯数/月	882	(年) 7,481
⑤ミサ献金/所帯数/月	512	585



WYDに青年8人が参加 徒歩巡礼など準備進む

この8月スペインでWYD(ワールドユースデー)マドリッド大会(本大会)8月16~21日)が開催、8月7~24日の日程で日本巡礼団が参加する。長崎教区からは青年8人(長崎中地区3、佐世保地区5)、高見三明大司教と司祭3人の総勢12人過去の大会の経験者の話を聞き、大会開催に向けて教皇のメッセージを読むなど準備を進めている。6月19日は、本大会前に行われる100kmのスペイン徒歩巡礼から参加する青年たちが、準備の一環として1日に歩く距離約20km(大野教会↓俵町・鹿子前・相浦↓204号線沿い↓大野教会)を実際に歩いた(写真)。

山田愛理澄さん(浦上教会)は、「歩いた翌日は体が痛くなって、歩き方がおばあちゃんのようになってしまう」と話している。

「多くの方々の支えを受け、青年たちの経験と信仰が深まることを願います」と話している。



全国各地の青年が同じ日時、同じ典礼でささげる「あっちこっちミサ」が、6月26日(日)午後3時から、長崎では中町教会を会場に開催された。このミサは各教区の青年が持ち回りで企画して行い、5回目の今回は長崎がホスト教区となり、

「あゆみだそう かみさまの しめされた道を(あかし)をテーマに全国の青年へと参加を呼び掛けた。前夜から長崎、福岡の青年が泊り込みで集まり交流会も行われ、親睦を深めた。当日は分かち合い、そして東北の被災地の方々の思い、霊

テーマは「あかし」 青年たちのあっちこっちミサ —長崎は中町教会で開催—

全国一斉!



的花束を準備して臨んだ大雨にもかかわらず約50人の青年が集まった。ミサの説教の中で大水恵一師(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)は、「あかし」という文字で何題か作文し、現代における信仰を説いた。青年の1人は、「神さまの愛と信仰の証しをこれか

らも殉教者に倣って行いたい」と、力をもらったことを深く感謝していた。全国で、札幌・新潟・横浜・大阪・広島・福岡・長崎・鹿児島・那覇の9教区が参加した。



大野教会 創立50周年を迎えて



たる歩みが続けられるよう共に祈った。祈りの後は、司祭、出身の修道女、これまで教会

大邱教区設立100周年

韓国の大邱大司教区(教区長・曹煥吉大司教)は5月15日、大邱市民スタジアムで大邱教区設立100周年を記念するミサを行った。協力教区として招かれた長崎大司教区は高見三明大司教が式典に参加、各地から集まった約3万人の人々は共に感謝のミサをささげた写真。



野教会の担い手として大きなお恵みとプレゼントをいただき身も心も満たされた。子供たちは、未来の大

野教会の担い手として大きなお恵みとプレゼントをいただき身も心も満たされた。子供たちは、未来の大

第17期教区連合婦人会総会

第17期教区連合婦人会総会が5月28、29日の2日間、カトリックセンター



館長の永井徳三郎氏からも韓国如己の会に対し感謝の意を伝え、入賞者一人一人に記念品を手渡した。最優秀賞と優秀賞の受賞者には、特典として長崎巡礼が贈られる。

東日本震災100日目にちなみ テゼ賛美の集い

東日本震災100日目にちなみ6月17日、犠牲者のめい福と災害復興を願ってテゼ賛美の集いが、教区エキユメニズム・諸宗教委員会(野下千年委員長)主催によりカトリックセンターホールで行われた。



会場には宗教宗派を超え約250人が集まり、キャンドルの明かりが揺らめく中、フルートやギターの調べにのせて「主こそまことのすくい」恐れれるな わずらうな」などテゼの歌11曲に祈りを込め歌った。歌の間には、スクリーン映像とナレーションによって被災地の様子がつづられ、ボランティア活動に参加したという2人の方の体験が分かち合われた。また、日本バプテスト教会の友納靖史牧師による祝福も行われ、参加者は、身につ

長崎大司教区認可、NPO法人長崎巡礼センター製作の「巡礼手帳」と「缶バッジ」が、このほど始まった。巡礼手帳は五島列島の教会と巡礼地計53

巡礼者の足跡を記録する一冊手帳と缶バッジできました!



長崎巡礼センターにて販売、問い合わせは同センター Tel.095-842-2393まで。

「観光客が教会を訪ねるうちに「巡礼者」となるように、巡礼者の気持ちで1つずつ足跡を記録していただくとうれしい」と話している。

「いのち」とはー春の公開聖書講座

6月9日、高見三明大司教を講師に迎えて春の公開聖書講座(教区生涯養育委員会主催)がカトリックセンターで開催され、信徒・修道者ら約200

人が講義に聴き入った。テーマは「ヨハネ福音書におけるいのち」。高見大司教は、ヨハネが好んで用いた用語の1つである「いのち」の意味を丹念に、順を追って解説し、「真のいのちとは、愛を生きたこと、すなわちお互いの中に存在し、交わり、一つになること」と説いた。参加者の中から、「いただいた資料を読み返して、学びを深めたいです」という意欲的な声もあった。

連載「巡回教会めぐり」8月号はお休みしました。



佐世保市にある大野教会では、6月26日(日)13時から創立50周年の記念ミサと式典が、工藤秀晃主任司祭と、以前主任司祭を務めた紙崎新一師の司式のもと約200人の参加者と共に行われた。ミサの中では、5人の子供たちの初聖体式もあった。

愛次郎大司教により落成祝別された。当時の信者戸数は30余で依町教会の巡回教会として発足。25周年を迎えたころには120戸余となり、現在は180戸余、信者総数は約1000人となった。式典の中で、今までの歩みがスライドで紹介され、感慨深く見入る人の姿もあり、先人たちの苦勞に感謝し、今後も確固



長崎厚生福祉団(千々岩源二郎理事長)にて研さんを積む。その経験を生かし、この10月オープンする「エルフ山の手」(長崎市戸町)の施設長職に就く。心療内科科の手ク

「如己愛人賞」は、永井隆博士に関する図書を指定し、中高生を対象に読書感想文を公募、選ばれた作品に贈られる賞で、昨年制定。当日は、最優秀賞を受賞した宋瑞鉉さん(高校の部)と金芝媛さん(中学の部)の他、入賞者計22人が表彰された。授賞式に出席した高見三明大司教と、永井隆博士の孫で永井隆記念館

後、ビジネスの側面から協力の道を模索する。恩返し、の思いとともに、かち着ける場所を提供できたらと思います。ご利用者も職員も人として大事にされている実感を持って

10月からオープンする「エルフ山の手」施設長

村川啓一郎さん



長崎厚生福祉団(千々岩源二郎理事長)にて研さんを積む。その経験を生かし、この10月オープンする「エルフ山の手」(長崎市戸町)の施設長職に就く。心療内科科の手ク

大神学生のころ中町教会に司牧実習でお世話になり、召命について自分の心と向き合う機会を持った。「1995年1月、阪神大震災の前で福岡の平田清正先生と出会い、介護福祉業界でわたしが生きていける術を教わりました」

3年余り、児童養護施設で社会人として仕事を一から学び、その後長崎市にある社会福祉法人

リニック(中谷 晃院長)の関連企業でショートステイ、デイサービス、有料老人ホームが利用できる施設だ。「ご利用者の中には、認知症が原因で不安を持つ

ること。自分を大事にしないと他人を大事にすることはできませんから。一方、聖職者の老後に役立つこと、支援がよりいっそう必要となる今

教区のために前も何か役に立つことができる。役立ち方は人それぞれだから」と言われたのが今のわたしの支えです。また、ある神父さまからは、「勢いばかりではいか

2日目は「いのちの電話」で活躍している西原由記子氏(写真)を招いての講演会があり、約



同 理事(日力連担当) 川淵 康子 (紐差、平戸地区会長) 山本ミヅヨ

6月17日、聖フランシスコ病院でリンパ芽球性リンパ腫のため帰天。94歳。



ルチア 赤菅フイ修道女 (長崎純心聖母会)

1916年五島市生まれ。38年入会。41年初誓願、51年終生誓願宣立。初誓願宣立後は伊王島修道院をはじめ佐世保、埼玉・浦和、鹿児島・出水などに派遣され、主に調理場の奉仕に専念した。修道会草創期のメンバーの1人として祈りと奉仕で会を支えた。晩年は車いすの生活だった

が、手先の器用さを生かしてたくさんの手芸品を製作し周囲の人に喜ばれていた。病床にあっても苦しみを強い信仰でささげながら、いつも周囲を気遣い温かい言葉掛けなどを通して積極的に宣教した。 葬儀ミサ、告別式は6月19日、修道会本部聖堂で行われた。

